

産業廃棄物処理計画書

計画書の提出年月日を記入してください。

令和 年 月 日

記入例

提出者住所
姫路市安田〇丁目〇番地

氏名 (法人にあっては名称及び代表者氏名)
株式会社〇×△□
代表取締役 〇〇 △△

電話番号
079-221-0000

記入にあたっては、第6面をご確認ください。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社〇×△□ 姫路工場
事業場の所在地	姫路市安田〇丁目〇番地
計画期間	令和 年4月1日から令和 年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	プラスチック製造業(1635)
② 事業の規模	10億円
③ 従業員数	500人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	○発生する産業廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの工程を記入してください。(フロー図等でも可) ○全てを記入できない場合、「別紙のとおり」と記入の上、別紙を添付してください。

記入例

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

○産業廃棄物の処理に係る管理体制図を記入してください。
○記入された情報は公表されますので、個人情報や企業秘密等は記入しないよう注意してください。

本産業廃棄物処理計画書で
定めた計画期間の前年度の
内容を記入してください。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値
(①)を記入してください。

【前年度(令和 ▲▲ 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
排出量	1000 t	t

(これまでに実施した取組)

①現状

各取組を記入してください。

廃棄物の種類が複数ある場合は、「別添一覧表のとおり」とし、一覧表シートに数値を入力しても構いません。

②計画

【目 標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
排出量	800 t	t

(今後実施する予定の取組)

各取組を記入してください。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

各取組を記入してください。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

各取組を記入してください。

記入例

本産業廃棄物処理計画書で
定めた計画期間の前年度の
内容を記入してください。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(②+⑧)を記入してください。	【前年度(令和 ▲▲ 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	210 t	t
	(これまでに実施した取組)		
①現状	各取組を記入してください。 廃棄物の種類が複数ある場合は、「別添一覧表のとおり」とし、一覧表シートに数値を入力しても構いません。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	300 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
各取組を記入してください。 本産業廃棄物処理計画書で定めた計画期間の前年度の内容を記入してください。			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(⑤)を記入してください。	【前年度(令和 ▲▲ 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	150 t	t
①現状	(これまでに実施した取組)		
産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(⑦)を記入してください。	各取組を記入してください。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	200 t	t
(今後実施する予定の取組)			
各取組を記入してください。			

記入例

本産業廃棄物処理計画書で
定めた計画期間の前年度の
内容を記入してください。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項			
産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(③+⑨)を記入してください。	【前年度(令和 ▲▲ 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	各取組を記入してください。		
①現状			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	各取組を記入してください。		
本産業廃棄物処理計画書で定めた計画期間の前年度の内容を記入してください。			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
産業廃棄物実施状況報告書(第2面)の実績値(上から⑩、⑪、⑫、⑬、⑭の順)を記入してください。	【前年度(令和 ▲▲ 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全処理委託量	640 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	300 t	t
	再生利用業者への処理委託量	500 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	200 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	300 t	t
	(これまでに実施した取組)		
各取組を記入してください。			
①現状			

廃棄物の種類が複数ある場合は、「別添一覧表のとおり」とし、一覧表シートに数値を入力しても構いません。

記入例

(第5面)

②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		
	全処理委託量	300	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	300	t	t
	再生利用業者への処理委託量	300	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	300	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	各取組を記入してください。			
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 一覽表

(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

実績：前年度（令和 ▲▲ 年度）実績量

目標：今年度（令和 〇 年度）目標量

単位:トン/年

[illegible]